



## 新鳥取12景

# 久松山

## 12万の顔もつ

久松山は、鳥取市民の顔であるといえるかもしれない。市民のよろこびや悲しみを、四季のうつろいを、かれはそのたじろがぬ姿勢のなかに、鮮明にうつしだしてくる。

たとえば——鳥取大火のあと、山は憤りと哀憐の表情をたたえ、まがまがしいとどろきをさえ発していた。仁風閣修復の日、かれは慈愛と安堵の色になごんでいたようである。

春の久松山は、サクラを配して相好をくずす。夏、青春そのもののごとく振舞う。秋、思索的なおちつきをのぞかす。そして冬のかれは、樹氷をとどめ面魂もきびしくなる。

朝おきて背伸びすると、旅からかえると、久松山が視界に躍りこみ、やあとあいさつする。白鳥があそび、キマダラルリツバメがさわやかなるさでとび交う。実にうれしい。

——われ山にむかいて目を挙げ、と心をただすとき、それぞれの思いのたけをむけて話しかけてみると、かれはきまってそれ相應の顔をみせて合点してくれる。久松山は、市民の数にあわせ十二万もの顔をもっているといつてよいだろう。

絵・乾 丈夫さん  
(チャールズ会、上町)

文・須崎 俊雄さん  
(鳥取断層文学会、丸山町)

●今年、選考委員六人が選んだ『新鳥取十二景』を市民の絵、文を通して紹介します。

金田市長に提言書を手渡す鶴田憲次会長  
(中央)と児島恒吉会長代理



### 市政懇話会が提言

「対話市政」のひとつである市政懇話会(鶴田憲次会長・委員五十人)は、今年も、総合・福祉・環境・産業・教育の五部門で意見交換を行い、一昨年につづいて二回目の「鳥取市政についての提言」をとりまとめ、昨年十一月二十二日、市長に報告しました。

〇〇〇

これらの提言は、見直しを進めている第二次総合開発計画(五十一・五十五年度)にも盛り込まれ、できるものから具体化されていきます。また、一昨年十一月の提言を具体化した主なものには①社会教育事業団の設立(準備中)②「老人の里」の建設(調査中)③独居老人の愛の家庭訪問④袋川堤防敷の緑地整備⑤母と子の公民館活動の推進などです。

今回の主な提言は次の通り。

#### 【総合部会】

①土地利用計画策定の方向について▽土地利用計画は鳥取市が東部広域圏の中核都市であり、県都でもあるので、広域的な視野にたつて計画を樹立すべきであり、東部町村とも十分連携を保ちながら推進▽海岸地域の緑地保全は観光資源の面からも十分配慮▽鳥取港背後地の利用計画とも関連をもたせ用途地域の変更なども考慮▽この利用計画は早い時期に市民への周知を図り、理解と協力を得る。

②交通基盤の整備促進▽阪神

経済圏との所要時間を一時間程度に短縮するため、智頭線、山陰新幹線、中国横断自動車道、山陰海岸自動車道、鳥取港湾などの建設整備を積極的に推進。

③市民の森の建設▽久松山系を都市林として位置づけ、自然を保全しながら、安らぎと憩いの場としての施設を整えようと

もに、周辺の山系も含めて「市民の森」として拡大整備。

④生産性の高い産業都市の建設▽自然と調和し、ユニークな伝統的個性を生かした文化の香り高い街づくりを進めるとともに、若者が希望をもって生活できる産業都市を指向すべきで、このためには、自然景観を生かし、緑豊かな全市民公園的な都市づくりと、文教・娯楽施設の整備を進め、生産性が高く、公害のない企業誘致を積極的に推進。

⑤日本海洋開発研究所設置の促進▽海洋開発は鳥取港の整備に伴い重要な課題であるため、日本海における海洋資源の利用、海洋開発のための観測、調査などを行う機関を国の機関として設置するよう、関係機関へ働きかける必要がある。

### 高齢者事業団の設置も

#### 【福祉部会】

①公共施設対策▽子供、老人のコミュニティ活動の場を考慮した福祉施設を備えた総合的センターの設置▽心身障害児の社会的教養を身につけるため社会見学の機会をつくり、併せてこれに必要な車イス専用バスの設置▽小中学校へ情緒障害児教

育のための教育体制の充実強化▽心身障害者の生きがいと、勤労意欲の増進をめざし、交通の利便を考慮し、福祉工場の設置▽健康で働く意欲のある高齢者がその才能、技術を生かすことができる方策として、高齢者事業団の設置。

②市民の健康管理対策▽精神薄弱、知恵おくれになる病気の早期発見のためのガスリー法の実施▽出生してから死亡するまでの健康状況を記入する健康管理手帳を作成し、現在使用されている母子健康手帳と併用。

③社会福祉対策▽これからの福祉は物のみでなく、心の通う面を充実することであり、幼児期からの教育の場でボランティア精神の養成▽高額医療費貸付制度の実施。

#### 【環境部会】

①環境美化対策▽袋川堤防住宅の撤去▽湖山池の浄化を図るため底泥のしゅんせつと周辺地域の下水道整備などの促進▽公共施設の統廃合や墓地移転など有効な土地利用により緑化推進▽快適で住みよい生活環境を確立するため、全市民が参加する組織の育成強化。

②廃棄物対策▽増大するゴミに対応するため、古紙、空きビン類など再生利用可能な物については、回収・再生の行政指導を

## 久松山系を市民の森に

### 産業振興で魅力づくりを



行うなど廃棄物の再資源化に対処▽地区、町内会へゴミの適正処理のモデル地区を指定するなど、住民協力による環境美化対策の推進。

③交通対策▽公害防止と交通緩和のため今後とも市街地へのマイカー乗り入れ規制を幅広く呼びかけ、強力で推進し、郊外へ大型市営駐車場の設置▽自転車通勤利用の推進と定着を図るパイコロジー運動の推進▽道路上の車両駐車が多くの交通を阻害しているので、これの防止について自治会、商店街などと協力して路上駐車防止運動を積極的に推進。

### 体育センター

#### 建設の時期

##### 【産業部会】

①商工業対策（若者に魅力ある企業と街づくり）▽男子労働者の県外流出を防止するために、地場産業の育成と、自動車、機械機器産業など付加価値が高く、市経済に波及効果の大きい男子型企業の誘致の推進▽農水産物を第一次、第二次加工による高付加価値化を図り、観光産物として販売するため、行政と農水産業団体が連携して総合的な農水産物加工・販売センターの設置。

②観光対策（美しさの中に豊かさをもたせた観光ルートの設定と埋もれた観光資源の開発と啓蒙）

③農林水産業対策（計画性と効率の調和）▽専業農地、農業後継者の確保と育成を図るため、農地造成など経営規模の拡大と生産基盤の整備▽現在、農地のほ場整備事業は夏期施行のため、一年の休耕を余儀なくされているが、生計へ及ぼす影響

②心豊かな市民性を育てるための対策▽魅力ある学校教育・あたたかみのある家庭教育・生きがいを感じる社会教育——の教育方針に基づいて市民教育を進める。

##### 【教育部会】

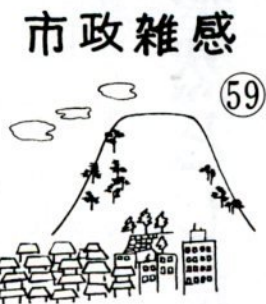
①教育施設についての対策▽一般文庫を備えた大衆向けの市立図書館の早期建設▽鳥取大学に人文科学系学部の早期設置。女子短期大学の設置充実▽鳥取市の文化財、史跡を正確でわかりやすく説明した掲示板の設置▽青少年の野外活動の助長と育成のため、美敷水源跡、明治地区などに、自然の中で青少年が創意工夫を生かすことのできるキャンプ場の設置。

③市民体育についての対策▽スポーツ人口の増加と小中学生の課外スポーツが盛んになり、既存の体育施設では利用者の収容が困難なので、小中学生用の体育施設を兼備した体育センターの建設▽市民の健康増進を促進し、憩いの場を提供するため、美保公園の早期整備▽市民総ぐるみのスポーツ推進体制の確立▽市民皆スポーツ参加の促進のためスポーツクラブの育成。

## 魅力ある郷土をつくろう

新年おめでとう。皆様のご多幸をお祈りします。未来学者ハーマン・カーンもわが国の将来をバラ色の予言をしているが、そううまくいくまい。予言は別として将来の見通しはむづかしい。しかし、見通しがなくては政策はたたない。

当市で鉄道の高架化、新港の築造、環状バイパスの建設等の大型プロジェクトに取り組んでいる。今こそ将来を見通した構想が必要だ。機を失っては悔いを大きく残す。私も全市をくまなく知り、全体の青写



### 市政雑感

金田 裕夫

真を頭に描く。あそこをこうし、ここをどうしたい。あそこに公園が、また、こ

なくてならぬ。魅力は住民の生活感覚にもとづき、住民が感じ味わうものであるべきだ。大都會の評論家の感覚とか、観光客の目だとか、中央役人の画一的指導が判断の基準となつてはならない。そこで当市の将来構想を住民の意思により具体化したいと考え、市政懇話会のご提言も頂き、また住民各層の人と研究会で討論して頂いているが、発展するには工業の振興が急務だとするもの、最近、諸施設も整備され、今のままで住みいい。こういう意見もある。都市像必ずしも一致しない。しかし、この対立した考えを併せ具備できるのが、これから発展する地方都市の魅力なのである。いい自然環境で近代的豊かな都市を整備する。これが我々の願いである。我々の郷土は中国山系を背景とし氷ノ山、扇ノ山、鷲峰山に囲まれ、清く激しい日本海に面し、ゆうゆうと流れる千代川、美しい湖山池、久松山等の自然にめぐまれている。また街路公園等都市の諸機能を整え、ゆとりのある生活環境の整備を進め、活発な工業の誘致振興に一段と力を致し、併せて豊かな田園農業を目論みたい。若者だれでも散策し走り回れる広い森とか広場、立派な演劇や音楽が鑑賞できる場、子供の創意を大きく育む施設、老人の総合施設等もほしい。夢が大きき多い。

(市長)

# 市民の自主防災組織づくり

## テレビ『窓の市政』から

本紙の昨年十二月号でも呼びかけをした市民自主防災組織づくりについて、より認識を深め、積極的に組織づくりに参加してもらおう、と昨年十二月十三日(月)、日本海テレビの市の自主番組「窓の市政」で、市民の自主防災組織づくりをテーマに、市民代表三人と金田市長の座談会を放映しました。そのあらましを紹介し、す。(文中敬称略)

### 出席者

浜野 二郎さん

(市自治連会長、相生町一丁目)

竹本 三雪さん

(市連合婦人会会長、伏野)

森 正一さん

(元町自警団前団長、元町)

金田 裕夫市長

宮田 公爾さん

(日本海テレビ放送記者)



## 整然とした行動へ

**宮田** 鳥取市に昭和十八年の鳥取大震災、そして二十七年の鳥取大火、その他風水害にも多く襲われてきました。大変な災害の経験をもっていますが、もし、こういった大災害が起きたらどうなるか。當時とは、まったく様子が変わり、市内にビルが林立していますし、

市長さん、この自主防災組織づくりは、どういったことで考えられたのか、また、どういった内容を呼びかけておられるのか、おたずねします。

今はガスや石油、そして、街には自動車があふれています。こういう環境のなかで、私たちの生命や財産を守っていくにはどうしたらよいか。もちろん行政の側では色々な対策をしているのですが、最後はやはり自分たちは自分たちで守る、ということが必要となってくると思います。鳥取市ではパンフレットを作って、自主防災組織づくりを市民にうたえています。そこで、きょうはこのテーマで話し合ってみたいと思います。

市長 防災は、行政サイドと市民サイドが一体にならないといけないと思います。行政としては災害に対応できるように防災の街づくりをしていかなければいけません。そのためには、街路や広場をつくり、消防力の整備を行うことです。しかし、これらはすぐできるものではない。鳥取市には立川、寺町、行徳のように狭く曲くねった消防車さえ満足に入れない所が多くありますので、まず、こういった所を急がねばならないと思っています。

また、街なかに広場が少ないので、できるだけ公共施設を郊外に移し、広場をつくる努力をしています。

宮田 震災対策協議会もつくられましたね。

市長 災害対策については、四十九年に県と協力して、鳥取大震災級の地震があり火事も発生した、という想定で訓練をしました。また、その年には東京都の消防庁の専門家に診断してもらい、その結果を基にして震災対策協議会をつくり、専門家の方々に集まってもらい、どうすべきかをご検討いただきました。そのなかで、全市民対象の防災に関する意識調査(五十年十月に実施。結果は昨年五月号の本紙に紹介)をしようということになったわけです。

一番恐ろしい災害は……	地震 57.4%	火 34.1%	風水害など 3.5%
地震(昭和18年鳥取大震災)の場	はあわてることが多い 53.2%	何もできない 23.4%	冷静に対処 3.3%
地震が原因での心配	火事の発生 88.2%	家が倒れる 63.5%	家族・知人の安全 45.3%
あなた自身の避難場所は……	決めていない 45.1%	決めている 32.6%	必要ない 2.6%
避難、救急、消火などの訓練は……	訓練は必ず参加 54.3%	訓練は必ず参加 17.9%	訓練は必ず参加 7.5%

「防災に関する意識調査」から

# 各自責任の位置に

**宮田** 意識調査の主なものは下表の通りですが、浜野さんは大震災も鳥取大火もご経験なさったんですが、今回の自主防災組織にも一段と熱が入ると思います……。

**浜野** 今、市長のおっしゃったように、対応できる問題を解決していただくということも必要でしょうが、それだけでは、事の性格上、万全を期するわけにいかんと思います。

防災組織の問題ですが、組織づくりというのは住民一人ひとりが責任の位置につくということだと思います。その意味で、この問題は真剣に取り組まなければ、自分の命を自分で守るということにならないわけです。誰かがするだろうということでは、全く意味がないと思います。とにかく、秩序のある、もののおかげで住民は防災のために大きな力になるわけですが、

これがなんの心の準備もなく、訓練もなにもないということになると群衆でして、結局、災害を増大するぐらいのもので、これでは相成らんと思います。

**宮田** 竹本さん、もし、昼に大災害が起これば、留守をあずかるご婦人の責任が重大になると思います……。

**竹本** 私はこの意識調査を見ま

して「大地震の時にあなたはどんな行動をとりますか」という問いに対して「気が動転して何もできない」という項目に、男子は一〇%代ですのに、女は四〇%代になっています。おそらくどたん場になったら、これが実感ではないかと思うのです。そのようなことをふまえて婦人として考えると、平素の近隣社会の人間関係が非常に大切だと思います。特に隣り近所の家族構成を婦人がよく把握しておいて、たとえば独居老人であるとか、病人を助け出すということが私たち婦人に課せられた問題であらうと思いますし、家事をあらかじめということからして、火の仕末には注意を払わなければいけないと思います。周辺の器具の整理整頓は私たちが平素心がけていなければ、と思います。

やはり平素自分の家ではどうしたらいいのだろうか、を家族間で話し合いが必要だと思います。また、調査のまとめをみますと「防災訓練にできるだけ参加したい」というのがありますが、それではだめで、これはぜひ皆が参加すべきだと思います。また、非常持ち出し品の準備は、私たち婦人のつとめだと思います。

**宮田** 森さんは自警団の団長として、火災の場合など活躍されたことが多いと思いますが、活動を通じて、万一の時には、人間はこういう傾向に走りやすい、というような経験をされたことはありますか。

**宮田** これから組織をつくっていく上に、注文なり、問題点なりがありますか。

**浜野** とにかく住民が主体性を持つことが、何より大切だと思います。行政からの押しつけ、押し着せんか。

**森** 私の所は元町ですが、全世界が鳥取大火にあっているので、火災には神経をとがらしているんです。防災活動には自警団を中心に班組織でやっています。若い人は中学を卒業してすぐの人から、六十歳を越えた人も、それぞれの役割で活動しています。二年ほど前には町独自で避難訓練をしましたが、八〇%の参加というよい成果をあげました。日常の自警団活動では、とにかく火災を起こさないことを重点に「バケツにいつも水を」を大言葉に運動しています。

## 積極的参加が命守る

倒れてくる危険もあるわけですから、その懸念のない道路を指定して、どの地域はどの道路を通ってどこの避難場所へ行くということを決める。それを、その地域の住民には全部頭にいれてもらう。そのためにはどうしても、この組織が必要となってくるわけです。

**浜野** 寝たきり老人や身体障害の方などを地域住民の責任というか、人間関係で第一番に救助できるような配慮も必要ではないかと思えます。

**市長** そうですね。自主的な組織でお願いしなければなりません。市としても考えねばなりません。

**宮田** まだまだお話し合いをする問題もあると思いますが、要するに、市ではそれぞれの地区で組織をつくって、万一の時にはどうするか、どこに避難したらいいのか。また、どんなことを知っていなければならぬのかなど、知識の啓発も含めて自主防災組織づくりに取り組んでいるわけですから、市民は積極的にこれに参加してみずからの命や財産を守るようにしたいですね。また、市としては組織づくりの呼びかけとともに、行政でやるべき避難路の整備や、広場の確保など、色々ありますが、積極的に推進してもらいたいですね。

**市長** なかなか困難な問題ですが努力します。 〓おわり〓



49年9月5日に行われた「鳥取地区総合防災訓練」での火災消火救助訓練(鳥取大丸前で)



東部広域圏振興整備構想研究報告のあらましは次の通りですが、これまでに、当広域圏では、伝染病隔離病舎、し尿処理場、不燃物の処理場、火葬場など広域圏住民が使用する施設の建設のほか、鉄道、道路、その他主要な諸事業、施策の促進に努めています。

《広域圏の現状と課題》

当広域圏の人口は、三十五年をピークに次第に減少し、四十七年ごろからわずかな増加傾向となりました。しかし、これは鳥取市の人口の増加によるもので、国府町を除く他の町村は依然減少を続けています。

このことは、当広域圏に、大学、短大などの高等教育施設や、若年労働者が就職する企業が少ないこと、にもよるもので、これは下表によって明らかです。

また、当広域圏では、東北、北陸地方でみられるような、多くの

農林業では生計が保たれないことによるもので、今後は、この農林水産業の振興が必要であると同時に先ほど述べたように、鳥取市を中心とした企業などの就職の場の整備が必要であることを物語っています。

次に、住民日常生活の基盤とな



広域行政の成果・因幡浄苑

### 県東部広域圏の整備構想

鳥取市を中心とする県東部の広域市町村圏（鳥取市と岩美、気高、八頭三郡の十二町二村）は、昭和四十五年に広域市町村圏として、市町村の行政区画を越えた幅広い行政を推進するため、各市町村長で構成する鳥取県東部促進協議会（会長・金田市長）をつくり、主要な事業、施策の促進に努めています。が、昨年度、自治省から広域圏振興整備構想研究の指定を受け、広域行政の見直しを行い、人口動態、交通体系、産業の振興、常備消防体制などについて、広域圏の現状を分析し、今後の課題を調査研究しました。

る鉄道、道路などの交通体系の整備のほか、教育文化施設、福祉施設などについても、各集落、町村ごとにみると、まだまだ不十分で

## 常備消防体制の実現めざす

あり整備が急がれます。特に、生命と財産を守る消防体制については、去る四十九年に、救急業務を全町村が鳥取市に委託することになりましたが、今後は、各町村の常備消防体制（広域消防）を確立する必要があります。

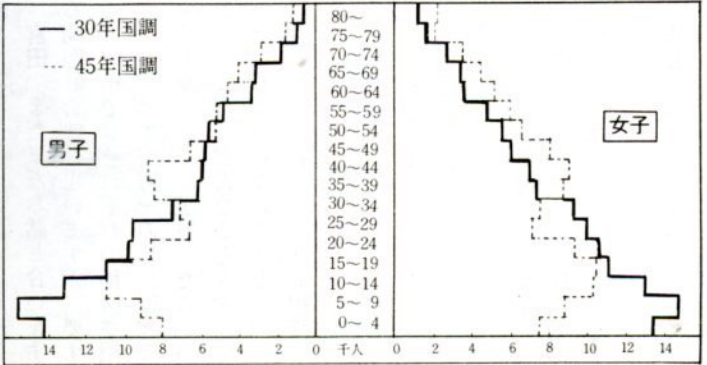
### ＝ 人口の推移 ＝

(単位 人)

区分	年	30年	35年	40年	45年	50年
鳥取市		107,520	107,386	108,860	113,151	122,311
郡部		137,771	132,265	122,795	114,820	109,735
計		245,291	239,651	231,655	227,971	232,046

### ＝ 5歳階級別人口構成 ＝

(昭和30、45年比較)



《広域圏振興整備の主要課題》

ここでは、当面、重要で急がれる問題を取り上げています。

① 交通体系の整備

▽各町村を横に連絡する新広域連絡環状道路の整備▽主要地方道・県道の整備▽既設国道の拡幅・バイパスの整備▽中国横断・山陰海岸自動車道の整備▽国鉄智頭線の早期開通と電化▽山陰本線の複線電化▽鳥取港の早期整備▽鳥取空港の整備

② 産業の振興

▽工場の振興▽若者の就業の場の確保と山陰京阪神との所得格差の解消をはかる▽商業の振興▽鳥取市の中核都市としての機能を果たすため魅力ある商店街づくり、

各町村中心部のショッピング機能の整備▽観光レクリエーション▽広域圏の豊富な資源、山岳、温泉、砂丘などの有効利用と有機的な連係を深め、圏域住民の利用を中心に圏域外住民の利用を図る。

ハイキングコース、オリエンテーリング、キャンプ、ゴルフ、サイクリングコース、海水浴場、宿泊休養地区などの設定など。

③ 常備消防体制

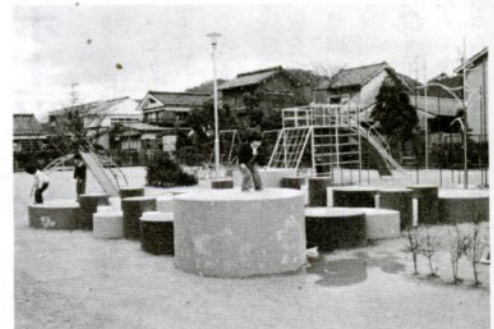
各郡に消防署（消防自動車、救急車、広報車などを配置）、出張所を設け、常備消防体制の整備を図る。これは五十三年の実現を目標。

# 市政ニュース

**動物公園にインコ舎寄贈** 「寒い冬を暖かく過ごして」と国際ソプロチミスト鳥取(石破和子会長)から、12月3日、暖房付きのインコ舎の寄贈を受けました。広さ12㎡のドーム型で、寒さに弱いインコ類、キンランチョウ、エボシドリなどの小鳥が入っています。



**西町、南町両公園の整備完成** 環境整備の一環として計画的に進めている都市公園整備事業で、このほど相次いで完成。両公園とも砂場、スベリ台などの遊具を整え、また水飲場、照明灯も設置。サザンカ、サンゴジュなども植えられ、緑化にも配慮。事業費は両公園合わせて1,000万円。写真は西町公園。



**第1回市民音楽祭開く** 「市民みんなで音楽を楽しもう」と12月12日、市民会館で開催。14の合奏・合唱サークル、約350人が出演。午後1時から4時間、鳥取市民合唱団による「鳥取市民歌」「ふるさと」の歌唱指導も加わり、鑑賞者約1,000人と盛り上った音楽祭になりました。

**昭和51年市政十大ニュース決まる** 12月17日、市民代表、市政記者、市長ら11人の選考委員により次の通り決定。▷は次点。

- ①仁風閣が復元し市民にぎわう②台風17号で大きな被害③全国のモデル市として土地利用の構想計画はじめる④戎町に動物公園オープン⑤青島で第1回鳥取こどもまつり盛況⑥マイカー通勤自粛運動など交通緩和対策に乗り出す⑦5氏に第1回鳥取市文化賞⑧本通り、若桜街道両商店街をカラー舗装⑨重要港湾鳥取港の整備はじまる⑩鉄工11社と公害防止協定結ぶ

▷桂見遺跡から丸木舟など縄文遺物みつかる  
▷全国で初めて中学校の修学旅行全廃決める  
▷カーニバルととりに若者1万人

## 市指定文化財

51・12・1指定

①

市教委は、十二月一日、市指定の文化財に橋本古墳(橋本)興禪寺庭園(栗谷町)離水海食洞(丸山町)安蔵シヤクナゲ群落(安蔵)百歳祝の打掛(瓦町・鳥取民芸館蔵)の五件を指定。これは、四十九年四月の箕浦家武家門(高德町)、北川家古文書(吉成)など七件の第一次指定に次ぐものです。

今回からシリーズで、新指定の五件の文化財を紹介し、第一回は「百歳祝の打掛」です。

### 百歳祝の打掛

(瓦町・鳥取民芸館蔵)



## 江戸末の民俗資料

江戸末期の製作(製作地・製作者不明)で、木綿、綿入れ。身丈・百三十九センチ、ゆき・六十二センチ、そで丈・四十一センチ。昭和十年ごろ、名譽市民の故吉田璋也氏により、鳥

の娘・北川ことさん(天保七年大正十一年・一八三六―一九二二)が岩井郡長郷村(現岩美町長郷)の大庄屋勝山家に嫁ぐ際、長寿を祝って特別にあつらえ持参させたものと推定されており、大庄屋級の晴着として、これが木綿であることは窮迫した江戸末期の時代世相を反映しています。この代わりとして絵柄にかなりの比重がかけられ、翁、姥、松竹梅、鶴亀など縁起ものがあしらわれ、背に「百」の文字が白抜きしてあります。

**猛昶の「爾俸爾禄……」**  
十二月号の表紙前文で「爾俸爾禄、民膏民脂」ということばを使ったところ、意味がわからないとおしかりを受けたので、その出典などを紹介します。

福島県二本松市霞ヶ城公園にある自然石に、丹羽家七代高寛公が藩士の戒めにするための四句十六字が刻んであります。

爾俸爾禄、民膏民脂。  
下民易虐、上天欺難。

祝着の特徴としては、引き染めに、地色が赤系統で仕上げられていることがあげられ、当時の風俗習慣と染色技術の研究上、貴重な民俗資料です。

「お前の俸禄は人民が脂して働いたたまもの。人民に感謝し、いたわらねばならぬ。この気持を忘れて弱い人民を虐げたりすれば、天罰があたるとあるであろう」という意味で、原典は中国の唐末、後蜀の君主猛昶の作によるものです。

# 来月3日から公民館祭

中央公民館主催（後援・市民館連合会）で、市民に広く公民館に対する認識を深めてもらう、と三回目の市民館祭が二月三日（木）から六日（日）まで、福祉文化会館三・四・五階で開かれます。多数おいでください。

主な内容は（作品展示会）三日～六日、午前九時～午後五時。各地区公民館から押絵、写真、書道、水彩画、手まり、日本人形など出品（公民館研究会）三日、午前九時三十分～午後四時三十分。関係者が集まり、活動上の諸問題について、事例発表など研究討議。

このほか、四日に婦人学級、五日に家庭教育学級、六日に乳幼児学級——と、それぞれ関係者が集まり年間の学級のあり方について反省し、今後の課題について研究討議を行う合同学習会（午後一時三十分～四時三十分）が開かれます。



昨年の公民館祭での「作品展示」

## 出してはいけない不燃物とは…

鳥取市外十三カ町村で運営する高草清掃工場（不燃物処理施設）では、最近、処理業務に支障をきたす不燃物が混入していることが多く見受けられるため、次の不燃物が出さない

ように、と呼びかけています。ご協力をお願いします。

① ガスボンベ類、ガソリン類など破砕時に爆発のおそれのある物  
② 劇薬ビン類、塗料カン類など埋立後、有害物質が地下水浸出液に流出するおそれのある物  
③ 可燃物が二〇％以上混合し、埋立後ガスが発生し引火のおそれのある物  
④ 土、石

なお、これらの処理については、次のように取り扱ってください。

▼①、② 購入先の業者に引き取らせる  
▼③ 可燃物、不燃物を十分仕分けする  
▼④ 晩稲の不燃物置場に持っていく。

### ● 家屋一斉再評価を 実施中です

市職員が訪問します  
市役所内線 262-264 へ。

## スポーツセンター一般開放

三洋電機

利用料金 下表  
施設 体育館はバスケットボールコート

### 市民会館

#### 今月のおもな催し

- 9日 アリスコンサート（有料）
- 15日 成人の日のつどい（関係者）
- 15日 浪曲大会（有料）
- 16日 鳥取おやこ劇場1月例会・人形劇「おしゃべりなたま
- 22日 高校入学模試成績資料説明会（関係者）
- 23日 新年子ども映画会（有料）
- 26日 NHKのど自慢（整理券）
- 29日 鳥大演劇部公演（有料）
- ※日 ポピュラーソングコンテスト
- ト山陰地区大会（有料）

区分	使用時間	一般
平日	2時間	1,000円
	半日 9:00~12:30 13:30~17:00	1,500円
	全日 9:00~17:00	3,000円
	超過料金(1時間)	500円
土・日・祝日	2時間	1,500円
	半日 9:00~12:30 13:30~17:00	3,000円
	全日 9:00~17:00	7,500円
	超過料金(1時間)	1,200円
体育館	9:00~12:00	1,500円
	13:00~16:30	2,300円
	17:00~20:00	3,700円
	全日 9:00~20:00	7,500円
	超過料金(1時間)	700円

半日使用の場合は半額。土・日・祝日は20%増。

償却資産の申告  
一月一日現在、償却資産（営業用で、構築物、機械装置、船舶、車両、運搬具、工具、器具など）を市内に所有している人は、地方税法第三八三条の規定により、申告が必要です。申告用紙は既に事業所あてに送付していますが、まだ届いていない場合は連絡してください。申告期限は一月末日ですが、できるだけ早目に提出してください。

給支支払報告書の提出  
昭和五十一年中に給料の支払いをした事業主は、給支支払報告書と総括表を一月末日までに提出してください。

問い合わせは、税務第一課（市役所内線262-264）へ。

（会員制）  
（関係者）

1月26日

## 文化財防火デー

一月二十六日は「文化財防火デー」です。文化財は私たちの祖先が長い間、大切に守りながら今日に伝えてくれたものです。この日は心を新たに、もう一度文化財の重要なことを考えてみる日であると思います。文化財を火災から守り、次の世代に送りましょう。

鳥取市には、昨年十一月復元された仁風閣（東町二丁目）をはじめ、樗谿神社（上町）福田栄治さん方古民家（紙子谷）聖神社（行徳）などの文化財があります。

とっとり市報297号

昭和52年1月1日

鳥取市総務部市政室編集発行

（鳥取市尚徳町二一六）二二一八一

印刷・日ノ丸印刷株式会社



☆ 健康

○ガン検診

次の日程で胃ガン検診を行います。希望者は厚生課(☎303)に申し込んでください。▷受付時間=午前8時30分～10時30分(料金無料)



Table with 3 columns: 区域 (Area), 検診日 (Check-up date), 検診場所 (Check-up location). Rows include 明德, 城北, 浜坂, 久松.

子宮ガンの受診申し込みはいつでも厚生課で受け付けており、市内の指定医療機関で受診していただくことになります。(料金無料)

○新入学児童の健康診断



今年4月、新しく小学校へ入学する児童(昭和45年4月2日～46年4月1日に生まれた児童)を

対象に、次の日程で健康診断を行います。会場は各小学校で、料金はありません。対象児のある家庭には通知しますが、検診日までに通知が届かないときは、市教育委員会・体育課(☎466)に連絡してください。なお、就学通知は2月上旬には届く予定です。

Table with 4 columns: 校 区 (School Area), 検診月日 (Check-up date), 時 間 (Time). Lists dates from 1月11日 to 2月3日 for various districts.

毎月第3日曜日

家庭の日

今月は16日

○乳児検診

生後6カ月の乳児を対象に乳児検診を行います。この期間は赤ちゃんの心身の発育、栄養の転換などに大切なときですので、対象児のある家庭は必ず受けさせてください。お母さんが同伴できないときは、妊娠中や出産後の発育状態などがわかるようにしてください。



▷受ける人=昭和51年7月生まれの乳児 ▷ところ=福祉文化会館(西町2丁目) ▷とき=午後1時～3時 ▷料金=無料 母子手帳を持ってきてください。

Table with 3 columns: 検診日 (Check-up date), 校 区 (School Area). Lists dates 1月18日 and 1月19日 for various districts.

○三歳児健康診査

次の日程で3歳の幼児を対象に総合的な健康診査を行います。

対象児のある家庭へは健康診査通知をしていますが、万一、通知が届かない場合でも、自由に来てください。

▷受ける人=昭和48年7月生まれの幼児 ▷ところ=福祉文化会館(西町2丁目) ▷とき=午後1時～2時30分

▷料金=無料 母子手帳を持ってきてください。問い合わせは鳥取保健所へ。(☎22-5161)

Table with 3 columns: 健康診査日 (Health check date), 校 区 (School Area). Lists dates 1月25日 and 1月26日 for various districts.

★昭和47年10月～48年6月生まれの幼児で未受診の人も、受診されても結構です。

救急病院



鳥取市の救急病院は次の4病院です。

- ★鳥取赤十字病院(尚徳町・☎22-6121)
★県立中央病院(江津・☎26-2271)
★市立病院(幸町・☎23-6211)
★星野外科小児科医院(青葉町2丁目 ☎22-5105)

なお、協力病院として鳥取生協病院(末広温泉町・☎24-7251)があります。

休日急患診療所

日曜日や祝日など休日に急病人が出たとき、患者が安心して治療を受けられるようにと、富安1丁目の付属準看護学院内(南中学校横)に「休日急患診療所」(☎24-0888)が設けられています。利用してください。診療時間は午前9時から午後5時まで。

除雪にご協力を



消火せん、防火水そう付近の駐車は、万一のとき消火活動を遅らせます。自動車の路上放置や消火せん付近の駐車はやめ、除雪に協力してください。



不用犬の引取り

★巡回引取り ▶毎月第2火曜日の午前中=面影・津ノ井・米里・倉田・美穂・大和・神戸・美保地区の順▶毎月第3火曜日の午前中=大正・東郷・豊実・明治・松保・湖南・大郷・末恒・湖山・賀露・千代水地区の順
★上記以外の地区については、鳥取保健所(☎22-5161)で毎週火曜日(午後1時～2時)に引取り、火曜日が祝日にあたる時は翌日。

1月は市県民税の
才4期納付月です

☆ 相 談

1、2月の法律相談

(県弁護士会担当)

一満員になり次第締め切ります

相談日 1月14日(金)
2月15日(火)

相続・遺産、土地の売買や登記、家族問題などでお困りの方は、市民相談室(☎209)に申し込んでください。(無料)

年金の相談所

年金についての色々な相談に応じています。

▷と き=1月10日(月) 25日(火)
午前10時～午後3時

▷ところ=市役所玄関ホール
▷相談員=鳥取社会保険事務所係官

郷土シリーズ①

『袋川』を増刷

昨年3月発行以来、好評を得て品切れになっていた郷土シリーズ第1巻『袋川』(価格 300円)を500部増刷しました。購入を希望する人は市教育福祉振興会(福祉文化会館内 ☎24-6766)に申し込んでください。

なお、同シリーズ第2巻『久松山の史跡と自然』第3巻『鳥取案内=復刻版』(各500円)は、あとわずかが残っています。

# マイカー通勤は自粛しよう

## 国民年金

成人の日は  
国民年金加入の日

成人式を迎えたみなさん、おめでとうございます。

20歳になると、成人として多くの権利が認められるとともに、いろいろな義務を負うこととなります。国民年金に加入するのもその一つです。

若い人にとって、年金の話は遠い老後のことと考えられるかもしれませんが、しかし、老後の年金はもちろん、永い人生にはいろいろの出来事があります。マイカー運転で重傷を負ったとき、一家の働き手が死んだとき、いし子が孤児になったときなど、国民年金から障害年金、母子年金、遺児年金、寡婦年金、いろいろな年金が支給されます。

こう考えると、国民年金に加入するのは、あなたの生涯安全設計のパスポートを手にするということになります。

国民年金の加入手続きは、印鑑をもち、市役所保険年金課(☎310)に出向いて、必要な事柄を記入するだけで終わります。20歳のあなた、あなたの将来のため、この加入手続きを早く済ませましょう。

## ★ 参加しよう

### 成人の日のつどい

▷対象者＝昭和31年4月2日～32年4月1日に生まれた人

▷とき＝1月15日・午前9時30分～正午

▷ところ＝市民会館大ホール

▷内容＝記念式典、記念講演、「成人になつて」の感想文発表、歌唱指導

▷その他＝対象者へは年賀状で案内しています。当日は案内ハガキ持参のうえ、平服で来てください。

問い合わせは中央公民館(西町2丁目・福祉文化会館内・☎23-9637)へ。

### みんなで歩こう会

鳥取市みんなで歩こう会の117回目の例会は次の通り。昼食は持参してください。

とき 1月9日(日)午前9時出発

コース 市役所前→宇倍神社→国府跡→三代寺→津ノ井→鳥取(午後4時30分ごろ)

交通費 約200円

### 消防出初め式 1月6日

新春恒例の消防出初め式が、5年ぶりに次の日程で行われます。

とき 1月6日(木)午前9時～10時

ところ お堀ばた(東町2丁目)

参加 消防職員85人、消防団員158人と消防ポンプ自動車25台をはじめ、はしご車、化学車、救急車など総車両数35台。

## 催しもの

◆福祉文化会館(☎23-9637) 3～6日 第3回市公民館祭

◆市民体育館(☎24-5222) 6日 パレーボール東部中学校新人戦▷16日 全国選抜パレーボール大会県2次予選▷23日 市小学校パレーボール大会▷29・30日 第4回市インドア硬式庭球大会(シングルス)▷30日 県新春総合選手権大会(バドミントン)

### ● 下水道技術の資格試験

市排水設備工事責任技術者と配管工の資格認定試験が次の日程で行われます。受験者のための講習会も開かれます。

試験日＝2月8日(火)午前9時～午後0時30分

受験講習会＝2月4日(金)午前9時～正午

場所＝市民会館大会議室(試験・講習とも)

受験料・講習料＝責任技術者5,000円、配管工4,500円。料金にはテキスト代含む。

申し込み＝1月10日(月)～25日(火)に、下水業務課(☎373、374)へ、申請書に受験料と講習料を添えて申し込んでください。

受験資格＝《責任技術者》①高等学校(旧制中学校)以上の学校を卒業し、上水道または下水道工事に関して2年以上の実務経験のある人②上水道または下水道工事に関して5年以上の実務経験のある人――のどちらか《配管工》上水道または下水道工事に関して3年以上の実務経験のある人

### ● 下水道の技術講習会

下水道事業に対する認識を深め、工事の設計、施行に関する技術の向上を図り、適正な監督管理ができるように、と次の日程で技術者講習会が開かれます。

とき＝《責任技術者・主任技術者》1月27日(木)《配管工》1月28日(金)。時間はともに午前9時30分～午後4時。

ところ＝福祉文化会館4階会議室

参加料＝1人3,000円(テキスト代含む)

申し込み＝1月17日(月)までに、下水業務課内下水道協会事務局(☎373、374)へ参加料を添えて申し込んでください。

### ● 水洗便所の修理は

下水道事業の進行に伴って、水洗便所使用の家庭が増えており、最近、水洗便所修理工事の申し込みや問い合わせが多くなっています。工事は市指定の排水設備業者に申し込んでください。

問い合わせは、下水業務課(☎373、374)へ。

## ★ 募集

### 市民文芸作品コンクール

第17回市民文芸作品コンクールの作品を募集します。

優秀作品は鳥取文芸懇話会が刊行する「文芸選集」に掲載し、応募者全員に応募作品集を贈ります。

【部門と点数】▷俳句＝1人5句以内▷短歌＝1人3首以内▷川柳＝1人5句以内▷詩＝1人1編(400字×3枚以内)▷随筆＝1人1編(400字×5枚以内)

いずれも未発表のものに限ります。

【応募原稿】俳句、短歌、川柳は官製はがき、詩、随筆は市販の400字詰原稿用紙を使い、部門、住所、氏名、年齢を明記してください。

応募原稿はお返しできません。

【応募資格】市内に住んでいるか、または勤務先のある人

【締め切り】1月31日(月)(必着)

【あて先・問い合わせ】☎680・鳥取市尚徳町116・市教育委員会社会教育課(☎458)

市教育委員会は、教育行政の進展に役立てるために、鳥取市の教育(学校教育、家庭教育、社会教育など)に関する思索、研究、提言などを募集します。

▷応募資格＝市内の小・中・養護学校、社会教育施設等に勤務している教職員または市内に住んでいる人▷論文内容＝鳥取市の教育に関する思索、研究、提言など▷応募原稿＝市販の400字詰原稿用紙15枚以内に横書き▷受付期間＝1月10日(月)～31日(月)▷あて先・問い合わせ＝☎680・鳥取市尚徳町116・市教育委員会・学校教育課(☎452)▷表彰＝優秀な論文提出者に対し、優秀賞を贈呈▷その他＝優秀賞を受けた人の論文を集録して刊行。

### 教育論文募集

### 保育園児を募集

市内にある公立・私立の各保育所(12月号に所在地と定員を紹介)が、昭和52年度の園児を募集します。

受付期間＝1月10日(月)～25日(火)

受付場所＝入園を希望する各保育所 詳しくは福祉事務所児童母子係(☎318)へ問い合わせてください。



### 自衛官を募集

自衛隊は、今春の高校卒業生を対象に2等陸海空士の自衛官を募集しています。自衛官は、国家公務員として身分、給与とも恵まれており、また、高度の技術を身につける絶好の職場で、生涯の職業として幹部への道も開かれています。

申し込みは、市政室(☎230)か自衛隊鳥取地方連絡部(鍛冶町・☎23-2251)自衛隊鳥取募集案内所(若桜橋詰・鳥取ガスセンター2階・☎26-4019)へ。